

武道館報

(公財)岩手県スポーツ振興事業団
岩手県営武道館

弓道快挙、2つの全国大会V達成！

☆天皇杯・皇后杯全日本選手権大会(近的) 初優勝(伊勢神宮弓道場 9月24日)☆



「無心・無欲の静かなる勝利者」村川春圭選手へのインタビューから

Q1：弓道歴を教えてください。

・山形県出身で山形西高等学校弓道部へ入部。岩手大学に進学し、弓道部に入部。現在は、盛岡市弓道協会に所属しています。

Q2：決勝進出する20名の中に残った時は。

・予選を通過できるとは思っていなかったなので、とても驚きました。

Q3：競射となる決勝時は。

・決勝に進めただけで充分でしたので、「今までやってきたことをしっかりやろう」という気持ちで臨みました。

(決勝：10射中9中：5人一組で2射ずつ、5回繰り返す競技方式)

Q4：仕事との両立は。

・現在は、盛岡市役所の市民部に勤務しています。職場には、とても配慮していただいております。仕事と両立できている状態です。私は、主に盛岡市加賀野にある盛岡市弓道場で練習をしています。県営武道館には、大会や国体強化練習の際にお世話になっています。

Q5：高校生など、これからの人に伝えたいことは。

・弓道で学んだことは、実生活でも活かせるものも多々あります。的中もさることながら、精神や礼節、態度など、たくさん学んでほしいと思います。また、年齢を重ねても継続できる競技なので、高校・大学卒業後も長く続けてくれる人が増えれば嬉しいです。

☆「いきいき茨城ゆめ国体」 成年男子(近的)

初優勝 (茨城県武道館弓道場 10月7日)☆

菊池治選手：今年は練習から調子が良く、切磋琢磨しながらチームが一つになり優勝に繋がりました。また、会場は岩手県営武道館と雰囲気が似ており、落ち着いて行射できた事も優勝の要因です。関係者の皆さんに感謝致します。

及川陸夫選手：初めての出場で緊張しましたが、チームや監督、関係者の皆様に支えられる中、1射1射集中して引く事ができ、近的優勝という最高の結果に繋げることができました。本当に心から感謝しております。今後も一つ一つ自身の弓道力向上に精進していきます。

高橋昂大選手：優勝は、チームメイト、監督、強化の皆様、諸先生方のお陰です。感謝申し上げます。今回の結果に驕ることなく修練を続けていきます。

上屋敷利一監督：国体出場が決まってから、新たな目標を決め、一人ひとりが今できる自分の射を引くことを意識し強化してきました。近的予選を終えて、目標が達成できてホッとしました。決勝トーナメントに向けては、最後まで自分の射を引くことを選手に話しました。監督席からは、選手が一本一本必死に弓を引く様子を見て、「勝っても負けても」と思っていたのですが、あれよあれよと勝ち進み、決勝は12射皆中して勝利しました。最高の3人、素晴らしい偉業を成し遂げてくれました。



左から、菊池・及川・高橋選手
上屋敷監督

武道教室の活動紹介(なぎなた)

あこがれの日本武道館 (8/4 東京)

「令和元年度全日本少年少女武道錬成大会」に参加して!



演技の部 中学生の部Fコート 優良賞 中二 菊池 こころ



来年はオリンピックのため錬成大会がないので、今年しかチャンスがありませんでした。成績を残すために日々の稽古を頑張ってきました。演技では「落ち着いた心で、一つ一つ丁寧にやる」をいつも頭に入れて稽古しました。また、試合では、自分から打つことと残心をいつもとること。この2つを目標に稽古しました。大会本番、演技の部では、稽古の時よりも調子が良く、2人の心がぴったり合っていたように感じました。すごく楽しく、自信を持って一つ一つの試合に心を入れることができたと思いました。結果優良賞(2位)に入ることができました。成績を残すことができ本当に良かったです。

中学生の部Fコート 優良賞 小6 熊谷 奈緒

私は、演技の部では中学生の部に出るので、前日は苦手なことを中心に稽古しました。そしたら5本目のツギがいつもより上手くいって安心しました。演技では、4本目のスネの時、肩が下がらず届くようにと一番気を付けました。本番では中学生が相手でこわかったけど、入賞できて良かったです。試合の部は、4回戦まではいけたけど、あまり攻めることができなかったのが悔しいです。来年の中学生大会を目指して稽古し試合に出たいです。全体ではもっと気持ちを強くして行って、もっと勝てるようにしたいです。



演技の部 小学5・6年生の部Aコート 優秀賞 小6 齊藤 夏未



この大会にむけて、普段は木曜日と土曜日の稽古ですが、火曜日もやることになり、週3回皆で頑張りました。特に7月は、夏休みのラジオ体操が終わった後に家の庭で面打ち等をやりました。皆とは、7月29日から多目的研修センターを借り、稽古をたくさんしました。演技では、遙さんと息が合うように何度も稽古をしました。大会当日、演技や試合では、最初はとても緊張しましたが、やっていくうちに緊張もほぐれ、稽古の成果をしっかりと出してよかったです。演技はとても嬉しかったのですが、試合はとても悔しかったです。来年は、錬成大会がありませんが、中学年大会で頑張りたいです。これからも稽古をたくさん積み重ねていきたいです。

演技の部 小学5・6年生の部Aコート 優秀賞 小6 熊谷 遙

私は、初めて錬成大会で賞がとれて嬉しかったです。演技で気を付けることは、一本目の側面です。それを稽古で少しずつ直していきました。本番ではそれがしっかりできたので良かったです。試合では、足を引きずらないことと自分から打つことです。でも本番では、足を引きずっていたので一本が決まらなかったと思います。そして自分から打つことはできましたが、もう少し自信を持って打てるようにしたいです。これからの稽古は、錬成大会でできなかったこと、演技でぶれないように打つこと、試合では「一本を決める。一本をとる。」という気持ちで稽古に取り組もうと思います。そして諦めない心、やる気を持つことも忘れないで、強い気持ちを持つよう、これからの稽古で少しずつできるようにしたいです。





演技の部 小学5・6年生の部Cコート 敢闘賞 小6 古里 優芽

私は、錬成大会に出て今までの中で一番いい賞を取ることができました。今年は小学生として最後の錬成大会でした。いつもの大会よりも緊張感をもって大会にのぞめたと思います。試合では1位になりたいと思い、稽古の成果を出しきりました。失敗することなく、準決勝まで進むことができました。ここまできたら、本気で優勝したいと思いました。でも、2-3で負けてしまいました。この試合で改善点が見つかったので、これから1位を目指していきたいです。



演技の部 小学5・6年生の部Cコート 敢闘賞 小6 高田 莉子

8月4日に東京でなぎなたの錬成大会がありました。大会会場は凄く広くて、迫力がありました。私は演技の部で敢闘賞をとりました。凄く緊張して、あまり上手にできませんでした。でも賞を取りたかったし、お父さんに「表彰台に上がったところを見たいな。」と言われたので、緊張していても皆のため、それと自分のために頑張って演技をしました。試合では勝とうと思って、疲れても全力でやりました。だけど、4試合目で負けてしまい凄く悔しかったです。これからの稽古では、自分の課題にむかって頑張っていきたいです。

武道教室指導者 稲村 明子 (岩手県なぎなた連盟理事長)

1年の稽古の大きな目標として毎年参加している武道少年少女錬成大会。岩手県営武道館の恵まれた環境の中、今年も皆で稽古に励みました。稽古をするにあたり、基本を大切にすることと稽古中は真剣に取り組む姿勢を持つということをお子たちにいつも伝えていきます。高学年、中学生に成長した子供たちは、一人ひとりこうなりたいという目標を持てるようになり、積極的な姿勢が見られるようになりました。気持ちが変わると稽古も変わります。お陰様で参加した選手が演技競技の部で全員が賞をいただくことができました。活動日が週2~3回という限られた時間の中で、このような結果を得られたことは、大きな自信につながったことと思います。また、同時に「課題を見つけた」と話す子供たちの言葉に、今後のさらなる成長への期待が持てます。武道の目指すところは「心の成長」にあると思います。これからもなぎなたを通じて将来に繋がる体験をたくさんして欲しいと願います。



定期利用団体の活動紹介 「いわて弓道ジュニア」

「相馬大作神社奉納弓道大会」

団体1位 個人3位 松岡 和沙

決勝の競射では緊張して平常心を保つのが難しかったのですが、3位以内の入賞が目標だったので頑張りました。次の大会では優勝できるように努力したいと思います。



「東北弓道ジュニア選手権大会」

団体1位 個人2位 西野 結依

東北大会で一番嬉しかったのは、団体優勝できたことです。一人一人の頑張りを結果につなげることができました。今回の大会では、ジュニアの選手がたくさん入賞することができ、皆の自信になったと思います。そして、自分たちを応援してくれた方、泣いてくれた方もたくさんいたので、その気持ちに応えられるよう、これからも頑張っていきたいと思います。



「JOCジュニアオリンピック大会」

団体ベスト16 曾我 毬乃

私にとっては試練の中でのJOCでしたが、貴重な経験をし、この先の目標を見つけることができました。

共催事業「弓道指導者研修会」

★8月17日(土)～18日(日)

会場 岩手県営武道館 弓道場 参加者34名
 中央講師(全日本弓道連盟) 村川 平治氏 範士八段
 坂本 武彦氏 教士八段
 地元講師(岩手県弓道連盟) 高橋 良子氏 教士七段
 柏木 公博氏 教士七段

【参加者の感想】

何度も日本一になられている先生の行射を、目の前で見る事ができる大変貴重な経験をさせていただきました。

分かっているつもりでしたが、背中で引く、肘は押すのではなく起こすなど、細かな技術等も学びました。



自主事業

★柔道教室 8月17日(土)～18日(日)

会場 岩手県営武道館 柔道場 参加者 延べ56名(中学生等)
 講師 横田 昭彦 七段 小黒澤 正智 七段

【参加者の感想】

2日間で、礼法、投げ技、固め技まで、身になる多くのものを教わることができた。

「崩し」が重要なことを学んだ。今後、崩しを意識して練習に取り組みたい。



★剣道教室 10月5日(土)～6日(日)

会場 岩手県営武道館 剣道場 参加者 延べ27名(中学生)
 講師 古舘 将 六段 金田一 裕美 五段

【参加者の感想】

ボールや新聞紙を丸めて竹刀に模したものを使って楽しく、分かりやすく教えていただいた。

講師の先生との稽古で、自分では気づかない悪いところがあった。



岩手県営武道館主要行事予定(11・12月)

月	日	行事・大会名
11月	3日	東日本女子医療系学生空手道大会
	4日	第21回岩手県スポーツ少年団空手道大会
	8日～9日	第62回岩手県高等学校新人剣道大会
	9日	岩手県柔道連盟形講習会
	9日～10日	第47回東北弓道連盟連合会女子部研修会
	10日	岩手県柔道連盟審判講習会・高段者柔道大会・実業団体対抗柔道大会 少林寺拳法東北連合会武道専門コース in 岩手
	15日～16日	2019年度岩手県中学校新人体育大会剣道競技
	22日～23日	第42回全国高校柔道選手権岩手県大会・富士大学旗争奪高校柔道大会
	23日～24日	東北合気道講習会
30日～12月1日	第27回岩手県武術太極拳選手権大会	
12月	5日	岩手県警察柔道・剣道大会
	15日	全日本都道府県対抗剣道優勝大会予選会

(公財) 岩手県スポーツ振興事業団 岩手県営武道館

〒020-0122 岩手県盛岡市みたけ 3-24-1

TEL 019-641-4577

FAX 019-641-4559

URL <http://www.echna.ne.jp/~kenei1/>

Mail keneibudokan@echna.ne.jp